

総務常任委員会資料
2025年（令和7年）3月6日
政策局プロジェクト推進室

本のまちビジョンの策定について

令和6年12月市議会総務常任委員会において報告しました「明石市本のまちビジョン素案（原案）」について、パブリックコメントによる意見公募等を踏まえ、別紙のとおりビジョン案を取りまとめましたので報告いたします。

1 パブリックコメントについて

実施期間	2024年（令和6年）12月20日（金）～2025年（令和7年）1月20日（月）
提出件数	15件（5名）
主な内容	● ブックスポットの認知向上が必要 ● 図書館での読書会の充実を図って欲しい ● 学校でのこどもの読書推進活動の充実を図って欲しい ● 読書によるインプットだけでなく、人との語らいによるアウトプットも図りたい ● 本を読むことの意味や大切さを記載してはどうか ● 図書館が中心になって本のまちを進めるのではなく、市が中心となって進めるということがもっとわかるようにすべき

2 ビジョン素案からの主な修正点

本のまちビジョン検討委員会、パブリックコメント等のご意見を踏まえ、記載内容を修正し案を作成しました。主な修正内容は以下の通りです。

(1) ビジョンのタイトル(表紙)

やわらかいイメージになるよう「明石市本のまちビジョン」から「あかし本のまちビジョン～本とつながる・本からつながる～」に変更しました。

(2) 本のまちが目指すイメージ図(全体像)(P10)

図書館だけでなく、市（本のまち担当）が本のまちづくりの中心的な役割を果たすという意味合いを込めて図の中心部分に配置を変更しました。

(3) 市(本のまち担当)の役割(P16～17)

市（本のまち担当）が本のまちづくりの中心的な役割を果たすという意味合いから、本のまちづくりの全体を見つめながらリードする役割を果たす旨を追記しました。

3 ビジョン案の概要(別紙参照)

(1)本のまち推進により期待する成果



(2)本のまち推進の方向性

本とつながる	いつでも、どこでも、だれでも、手を伸ばせば本に届くまち
本からつながる	本から人とつながり、知りたいことややりたいことに出会えるまち

(3)目指したい本のまちのイメージ

- ①本に親しみ本が好きになる
- ②本のある場所に集い自分らしく過ごせる
- ③楽しみながら本と人の魅力に触れられる
- ④ゆるやかで自発的なつながりが生まれる
- ⑤読む・知ることで想像力や創造力を育む
- ⑥やりたいことにチャレンジできる

4 今後の予定

本年3月末にビジョンを策定し、公表する予定です。

また次年度以降、ビジョン概要版の作成やシンポジウムの開催等、本ビジョン周知のための取組などを進めていく予定です。